

問題だらけの中学チャレンジテスト

チャレンジテストは廃止を

二学期にはいつて早々の一月十二日に中学一、二年生を対象にした大阪府チャレンジテストが実施されました。新聞では、半数以上の生徒が欠席した中学校が報道されたり、出題ミスや出題範囲の誤りがあったりしたことが明らかになっています。

問題だらけの中学校チャレンジテストは、廃止しありません。

テスト当日に大量欠席

新聞などマスコミでは、十二日のチャレンジテスト当日に、半数以上の生徒が欠席した学校があったことを報道し、学校や塾の声かけなどの影響について言及していますが、チャレンジテストの制度的な問題点については、まだまだ十分伝わっていません。

中一のテストに中二の内容が

今回の中一の英語のテストでは、直前に出題ミ

スが明らかになり、訂正の対応に学校が追われたり、ある市で採用している教科書で二年生の教科書を取り上げられている内容を一年生のテストに出題したりという、ミスが明らかになっています。

高校入試の内申書の評定に関わるという、子どもたちの将来をかけたテストにしてはチェックがいい加減であり、制度の問題点も含め、このようなチャレンジテスト

が実施されている大阪の教育に不安を感じます。



これがチャレンジテストだ!

だれにでもわかるチャレンジテスト 大阪教育文化センターホームページより

1 チャレンジテストで内申が決まる

チャレンジテストとは、大阪府内の公立中学校の1～3年生全員(約22万人)が受験。1、2年生は年度末の1月に行い、得点に応じて個人の内申書の成績を変更し、3年生は6月に実施。

内申書の比重はとても大きい

高校入試は、学力検査(450点)+内申書(450点)の900点満点で決まります。内申書の評定が1ランク下がると、当日の入試で、10点下がるのと同じ(学力検査と調査書の比率が半々の場合)



(2) 学校でいくら頑張っても...

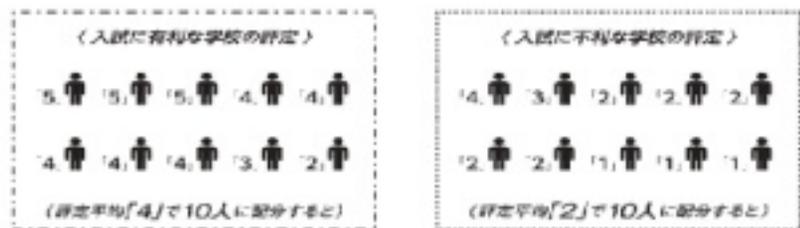
- 中学1・2年生では、チャレンジテストで、1人ひとりの内申点が決まります -

府内の中学校は大混乱しています。絶対評価導入に向けて、ここ数年研修を重ね、学校が責任をもってつけた成績が、チャレンジテストの結果によって変えさせられる事例が、府内各地で1万件をこえています。例えば、「英語の評定が1学期に『4』、2学期に『4』であった生徒の内申書評定が『2』に落とされた」など、たった1回のテストで1年間の評定がひっくり返されています。

このようなことに対して府教委は協議申し立ての制度を作っていますが、ある市では、内申書変更に対する府教委への協議の申し出が700件をこえましたが、まったくの門前ばらいにされました。

2 お子さんの中学校の内申書は?

中3のテストでは、各中学校が競い合う団体戦となっています。その結果によって、各中学校全体の内申書評定平均が決まります。平均が高い学校ほど多くの生徒に良い成績がつけられるようになります。逆に低い学校では、頑張っている生徒でも良い成績はつけられません。



内申書の成績を学校で決定できない?

子ども・保護者に説明ができない
各学校が責任をもってつけた1年間の成績が、たった1回のテストによって、むりやりに変更させられるのであれば、日常の授業やとりくみで、いくら頑張っている生徒であっても正当に評価することができません。「なぜ、こんな評定になったのか?」子ども・保護者にきちんと説明できないような評定は、内申書の成績にはできません。また、学校における、生徒の平素のとりくみが反映されないのであれば内申書の意味がなくなります。

大阪府の「内申点」は5段階評定です 大問題! チャレンジテスト

(1) 入試がまったく不公平に
中学3年生では...内申の学校平均「4」の中学校では、「1」はつけられません。「1」を1人つけると、「5」を3人つけないと平均「4」になりません。「5」「4」ばかりの中学と、「1」～「3」ばかりの中学ができます。
内申の学校平均「2」の中学校では、「5」はつけられません。「5」を1人につけると、「1」を3人つけないと平均「2」になりません=こんな内申点では希望校にいけない!

えっ!? 本当

6月のテストで、その後3月までの1年間の、各学校の内申平均が決定されます。(6月以降に、いくら頑張っても反映されません)
5教科のテスト結果で、テスト教科外の「音・美・体・技家」の内申平均も決定されます。(体育や音楽などが優れていても反映されません)

「子どもを追い立て格差を広げる!」これが教育?

- ・私、2段階も落ちた
 - ・学校の平均点を下げるから「俺たちテストに参加しないほうがいいかな」(実際に休んだ生徒がいます)
 - ・毎日、テスト対策の勉強ばかり
 - ・もう転校するしかない(自分の学校の評定平均が低い)
 - ・通っている学校によって内申書に差が出るなんて...
- 子どもたちの声から...子どもたちにこんな思いをさせていいの?
中学校校長会も、府教育庁に求めています
「高校入学者選抜方法について、調査書に記載する評定については各中学校にゆだねられたい。」(H28年度大阪府公立中学校校長会「要望書」)

子どもと保護者、教職員に負担を強いるだけの「中学校チャレンジテスト」は、廃止・撤回に!

一部不正確な部分もありますが、そのまま掲載しました。